
俺達の仲直り

湖宇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺達の仲直り

【Nコード】

N2181C

【作者名】

湖宇

【あらすじ】

人との関係なんてそんなに簡単に変わらない、変えられない。だからこそ、今まで抜け出せずにいたこの苦しさが、こいつの言葉で終わった気がした。

「おい、生きてるか？」

「死んでるように見えるのか…？」

突然空から降ってきた声の持ち主は、
暑い太陽の紫外線をさえぎって、
俺に影を落とした。

「死にたそうな顔はしてるな」

「そりゃあ的確なお言葉」

その台詞に小さく笑ったこいつは、
俺の側に寝転んだ。

「まだ好きなわけ？」

知ってて聞くこいつは、
ホントに性格が悪いと思う。

「まあねー…」

誰をとば聞かなかった。
その台詞に当てはまる人物は、
世界で一人だからだ。

「いい加減忘れろ。アレは俺のだ」

「わかってるっつーの」

「それに戻りたいんだけど」

「何が」

「お前と友達に」

世界がざわついて、
風が吹いた。

上を見上げると、
空が雲を泳がせている。
紫外線をさえぎるものがないせいで、
この場所は少し眩しい。
目が涙目になってるのは、
きつとそのせいだ。

「泣くなって」

「泣いてねーよ」

苦しかった。

結局、あいつのコトも、

こいつのコトも、

俺は大好きだから苦しかった。

人との関係なんて、

そんなに簡単に変わらない。

変えられない。

だからこそ、

今まで抜け出せずにいたこの苦しさが、
こいつの言葉で終わった気がした。

「んでお前は？」

「そうだな…今は無理だ。けど…」

「けど？」

「俺も戻りたいかな、友達」

そう言った俺を見て、

嬉しそうな顔で笑ったこいつを見て、

止まってた時間とか、

失くした日常が、
戻ってきた気がした。

「俺、先に戻ってるから」

そうやって立ち上がると、

「俺さー…」

そうやって顔だけを俺に向けたあいつは、
俺を呼び止めた。

「何だよ」

そういえばドラマじゃ、
だいたいこういうときに、
名台詞が聞けるんだっけ。
そう思いながらドアに手をかけると、
あいつは、

「俺、チンギスハーンのこと
ジンギスカーンだと思ってた」

と言った。

「…」

ああ、そうだ。

コイツはこういう奴だった。

「知るか！」

そういつてドアを勢い良く閉めた。

そうすることで、

不覚にも笑いそうになった自分を隠した。

事態は俺が思っていたより、
そう深刻でもなかったらしい。

あまりにも俺たちらしい、
くだらない会話の中に、
俺は俺の欲しいものを見つけた。

(後書き)

何があっても変わらない関係も素敵だけど、変わってしまったもそれ
れがしっくりくることもあったり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2181c/>

俺達の仲直り

2010年12月18日17時33分発行